

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 アビックス株式会社
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣田 武仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 桐原 威憲
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-670-7720

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	447	39.3	6		8		7	
2020年3月期第2四半期	321	24.7	73		76		75	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 8百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 76百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	0.29	
2020年3月期第2四半期	3.06	

(注) 2020年3月期第2四半期及び2021年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,401	416	29.5
2020年3月期	1,353	381	27.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 413百万円 2020年3月期 376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を精査中であり、現時点において合理的な算定が困難であるため、未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	25,098,500 株	2020年3月期	24,724,500 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	株	2020年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	24,777,057 株	2020年3月期2Q	24,687,418 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることを御承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会・経済活動が急速に停滞したことから極めて厳しい状況となりました。景気の先行きにつきましては、経済活動の再開に伴い足下の景気動向には持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せず、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは感染リスク低減のため、一部の部門を除き在宅勤務を原則とし、今後も継続する方針であります。営業活動といたしましては、Web会議の活用などにより継続しており、経済状況に左右されない安定的な収益を確保できる事業を中心に展開してまいりました。

これらの結果、売上高447,763千円（前年同期比39.3%増）、営業損失6,226千円（前年同期は73,028千円の営業損失）、経常損失8,227千円（同76,703千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失7,142千円（同75,562千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

また、セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門は主にデジタルサイネージのリース、運営部門はデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門はデジタルサイネージの製造・販売を行っております。機器リース・運営部門につきましては、長期契約による収益安定事業であることから、今後も安定的な収益が見込めております。

情報機器につきましては、製品の低価格化などにより、デジタルサイネージは幅広い業界に普及しつつあり、市場は拡大傾向にあります。加えて前期より主力業界の変更に取り組み、外部企業との連携やWeb施策を実施しており、新たな業界からのお問い合わせや案件数は増加しております。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は、売上高410,498千円（前年同期比40.6%増）、セグメント利益3,239千円（前年同期は63,187千円のセグメント損失）となりました。今後も上記の取り組みを継続し、新たな業界への参入を加速させてまいります。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営している、Value creating事業につきましては、地域創生を軸とし、SNSと大型LED表示機を連動したWeb-リアルを横断するクロスメディアの運営を行っております。将来的に当社グループの基幹事業とするべく人員の増強、今後の拡大を見据えた仕組化等に取り組んだことによる費用増加もあり、黒字化には至りませんでした。

以上の結果、Value creating事業は、売上高37,265千円（前年同期比25.8%増）、セグメント損失9,465千円（前年同期は9,841千円のセグメント損失）となりました。セグメント損失であるものの、展開地域数の増加により、売上高は増加しております。引き続き当社グループの基幹事業とするべく展開してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、1,401,143千円（前連結会計年度比47,474千円の増加）となりました。その主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、984,757千円（前連結会計年度比12,807千円の増加）となりました。その主な要因は、借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、416,386千円（前連結会計年度比34,666千円の増加）となりました。その主な要因は、新株予約権の行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、現在精査中であり、合理的な予想の数値の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	960,993	1,014,013
受取手形及び売掛金	158,077	120,072
商品及び製品	62,626	83,341
仕掛品	5,398	9,380
原材料	11,891	15,047
その他	18,516	20,451
貸倒引当金	△112	△83
流動資産合計	1,217,390	1,262,225
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	372	345
車両運搬具（純額）	2,409	2,008
工具、器具及び備品（純額）	16,061	15,785
レンタル資産（純額）	12,234	11,939
リース資産（純額）	51,188	52,040
有形固定資産合計	82,266	82,118
無形固定資産	4,080	4,337
投資その他の資産	49,932	52,461
固定資産合計	136,278	138,918
資産合計	1,353,669	1,401,143
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,389	36,689
1年内返済予定の長期借入金	256,996	263,876
未払法人税等	3,108	3,772
その他	71,631	61,596
流動負債合計	362,125	365,934
固定負債		
長期借入金	562,753	572,510
その他	47,071	46,312
固定負債合計	609,824	618,822
負債合計	971,949	984,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	574,562	596,254
資本剰余金	91,824	113,516
利益剰余金	△290,179	△297,322
株主資本合計	376,206	412,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	551	683
その他の包括利益累計額合計	551	683
新株予約権	1,641	1,267
非支配株主持分	3,320	1,986
純資産合計	381,719	416,386
負債純資産合計	1,353,669	1,401,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	321,533	447,763
売上原価	146,122	209,401
売上総利益	175,411	238,361
販売費及び一般管理費	248,440	244,587
営業損失(△)	△73,028	△6,226
営業外収益		
受取利息	10	4
受取配当金	59	69
助成金収入	—	2,000
保険解約返戻金	980	—
その他	19	52
営業外収益合計	1,069	2,126
営業外費用		
支払利息	4,680	4,059
その他	63	68
営業外費用合計	4,743	4,128
経常損失(△)	△76,703	△8,227
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,703	△8,227
法人税、住民税及び事業税	248	248
法人税等合計	248	248
四半期純損失(△)	△76,951	△8,475
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,388	△1,333
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△75,562	△7,142

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△76,951	△8,475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	132
その他の包括利益合計	△8	132
四半期包括利益	△76,959	△8,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△75,571	△7,009
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,388	△1,333

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△76,703	△8,227
減価償却費	26,842	15,066
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△60	△29
受取利息及び受取配当金	△69	△74
支払利息	4,680	4,059
売上債権の増減額 (△は増加)	68,338	38,004
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△46,514	△27,853
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,422	6,299
その他	3,009	△14,122
小計	△30,898	13,123
利息及び配当金の受取額	69	74
利息の支払額	△4,892	△4,140
法人税等の支払額	△496	△496
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,217	8,560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△647	△655
有形固定資産の取得による支出	△8,663	△5,261
無形固定資産の取得による支出	—	△1,340
その他	337	946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,974	△6,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	350,000	160,000
長期借入金の返済による支出	△155,596	△143,363
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	43,010
株式の発行による収入	19,994	—
セール・アンド・リースバックによる収入	35,301	—
リース債務の返済による支出	△10,352	△8,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	239,346	50,769
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	194,154	53,020
現金及び現金同等物の期首残高	912,392	960,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,106,547	1,014,013

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ21,692千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金は596,254千円、資本剰余金は113,516千円となっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定、会計上の見積りについて重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	291,917	29,616	—	321,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	720	—	△720	—
計	292,637	29,616	△720	321,533
セグメント損失(△)	△63,187	△9,841	—	△73,028

(注) 1 セグメント売上高の調整額△720千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	410,498	37,265	—	447,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,600	—	△1,600	—
計	412,098	37,265	△1,600	447,763
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,239	△9,465	—	△6,226

(注) 1 セグメント売上高の調整額△1,600千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益とセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。